

ファイル自動整頓ツールVer1.3.4 設置手順書

第 2.0 版

目 次

1	はじめに	1
1.1	本書の読み方	1
1.1.1	略称について	1
1.1.2	商標について	1
1.2	システム概要	1
1.3	本書の対象読者	1
1.4	注意事項	2
1.5	ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項	2
1.6	対応機種	3
1.7	対応 OS・ブラウザ	3
1.8	用語について	4
2	事前準備	5
2.1	インストールの準備	5
2.1.1	インストールファイルの確認	5
2.1.2	インストール用クライアント PC	5
2.1.3	ライセンスファイルの入手	5
2.1.4	複合機 AMS 環境の確認	5
2.2	複合機の設定 (アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合)	6
2.3	複合機の設定 (アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合)	10
2.4	個人フォルダーの作成方法	14
3	インストールとセットアップ	20
3.1	SMS (Service Management Service) を利用したインストール方法	20
3.1.1	ファイル自動整頓ツールの導入方法	20
3.2	SMS (Service Management Service) を利用したアンインストール方法	24
4	環境設定	29
4.1	Web ブラウザからのログイン方法	29
4.2	アプリケーションの個別設定	31
5	動作確認	32

1 はじめに

1.1 本書の読み方

1.1.1 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版	: Windows Vista
Microsoft® Windows 7® operating system 日本語版	: Windows 7
Microsoft® Windows 8® operating system 日本語版	: Windows 8
Microsoft® Windows 8.1® operating system 日本語版	: Windows 8.1

1.1.2 商標について

Canon、Canon ロゴ、iR、imageRUNNER、imagePRESS、Satera、LBP、MEAP、imageWARE はキヤノン株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1.2 システム概要

キヤノン製複合機 (imageRUNNER ADVANCE (以下複合機)) で、アドバンスドボックスに保存されたファイルを自動的に整頓するツールです。アドバンスドボックスの仕様で、1フォルダー内に保存可能なファイル (フォルダー) 数の上限が 1000 ファイルという制限により、ファイルが保存できなくなるケースがあるため、本ツールにて定期的にフォルダーを監視し、サブフォルダーへファイルを移動します。また、本ツールにて移動されたフォルダー名を基に保持期間が過ぎたフォルダーを削除します。

1.3 本書の対象読者

本書は、複合機にファイル自動整頓ツールをインストールされる方向けの設置手順書です。

1.4 注意事項

- ・ 本ツールの複合機への導入にあたっては、インストール用の PC が必要になります。複合機へ通信可能なインストール用 PC をご用意ください。
- ・ 管理者設定画面は複数のブラウザから操作しないでください。
- ・ 本ツールは本体内のアドバンスドボックスに対してのみ監視を行い、他の複合機のアドバンスドボックスを監視することはできません。
- ・ アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合は、複合機本体の SMB サーバー設定の「SMB サーバーを使用」及び、SMB 認証設定の認証タイプ「NTLMv2」の設定を ON にする必要があります。
- ・ アドバンスドボックスのフォルダーにアクセスする際のパス文字列は最大 128 文字までとなります。
- ・ アドバンスドボックス内にファイル・フォルダーを保存した場合やファイル名を変更した場合はファイル・フォルダーの作成日時、更新日時が変更されます。本ツールにより移動したファイルの作成日時、更新日時も同様に移動した日時へ変更されます。
- ・ 本ツールの監視フォルダー設定で監視先に個人フォルダーを設定する場合、あらかじめアドバンスドボックスのユーザーアカウントの登録と個人スペースの作成を行う必要があります。
- ・ 移動先のサブフォルダー内に既に同じ名前のファイルが存在する場合は移動できません。

1.5 ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項

- ・ ファイル格納通知ツールの監視前に、本ツールの監視処理が実行された場合、設定によってはファイル格納通知ツールの通知より前にファイルが移動され、正常に通知ができない場合があります。この場合は本ツールの基本設定にてファイルの移動待機時間を調整してください。

1.6 対応機種

本ツールに対応する機種は以下のとおりです。

◇MEAP 対応 imageRUNNER ADVANCE シリーズ

カラー複合機

- imageRUNNER ADVANCE C355
- imageRUNNER ADVANCE C3530/C3520
- imageRUNNER ADVANCE C5035/C5030
- imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045
- imageRUNNER ADVANCE C5240/C5235
- imageRUNNER ADVANCE C5255/C5250
- imageRUNNER ADVANCE C5540/C5535
- imageRUNNER ADVANCE C5560/C5550
- imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055
- imageRUNNER ADVANCE C7270/C7260
- imageRUNNER ADVANCE C7580/C7570/C7565
- imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO
- imageRUNNER ADVANCE C9280 PRO/C9270 PRO

モノクロ複合機

- imageRUNNER ADVANCE 4045/4035/4025
- imageRUNNER ADVANCE 4245/4235/4225
- imageRUNNER ADVANCE 4545/4535/4525
- imageRUNNER ADVANCE 6075/6065/6055
- imageRUNNER ADVANCE 6275/6265/6255
- imageRUNNER ADVANCE 6575/6565/6560/6555
- imageRUNNER ADVANCE 8105 PRO/8095 PRO/8085 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8295 PRO/8285 PRO/8205 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8595/8585/8505

1.7 対応 OS・ブラウザ

◇対応 OS

- Windows Vista SP2
- Windows 7
- Windows 8
- Windows 8.1
- Windows 10

◇対応ブラウザ

- Internet Explorer 8
- Internet Explorer 9
- Internet Explorer 10
- Internet Explorer 11

1.8 用語について

用語/略称	説明
MEAP	MEAPとは Multifunctional Embedded Application Platform の略で、複合機などの周辺機器に組み込まれるソフトウェアプラットフォーム。 Java(J2ME=Java2 Platform Micro Edition)Platform 環境を基礎にしており、その上で Java Application(MEAP Application)を実行可能としたものです。
複合機	キヤノン製複合機 imageRUNNER/ imageRUNNER ADVANCE/imagePRESS の総称
SecurityAgent サービス	複合機から送信される認証情報を元に、ActiveDirectory に対して認証処理を行う複合機本体付属の Windows サービス。 キーボード認証時に使用されます。
SMS (Service Management Service)	Web ブラウザを利用してネットワーク経由で複合機にアクセスし、MEAP アプリケーションのインストールや管理を行う複合機本体付属のソフトウェア。 使用方法については複合機本体付属のマニュアル「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。
SMB プロトコル	ネットワーク上のコンピューター間の通信プロトコルで、Windows ネットワークもこれを利用しています。ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。
NTLMv2 認証	Windows でネットワーク・ログオン時などに使われる認証方式の一つ。
ファイル格納通知ツール	キヤノンのホームページから無償でダウンロード可能なソフトウェアです。 ネットワーク上の複合機から SEND 機能を使って送信したファイルをクライアント PC が受信・格納したときに、PC のディスプレイ上に通知するツールです。 ファイルが送信されたことを音やバルーンなどでお知らせするので、他の業務に専念することができます。またログを保存することもできるので、あとから履歴を確認することができます。
アドバンスドボックス	本体に標準搭載されている HDD の領域を利用し、SMB または WebDAV プロトコルにてファイル共有を実現します。

2 事前準備

2.1 インストールの準備

2.1.1 インストールファイルの確認

複合機にファイル自動整頓ツールを導入するためには、以下のファイルが必要です。

■インストール時に必要なファイル

	説明	入手方法
advbox_file_arrange_x.x.x.jar	アプリケーションファイル (x.x.x はバージョン番号)	インストール CD
licence.lic	ライセンスファイル	※別途入手してください。

※上記ファイル名は実際のファイル名と異なる場合があります。

2.1.2 インストール用クライアント PC

ファイル自動整頓ツールの“アプリケーションファイル” および “ライセンスファイル”の複合機へのインストール作業は、Webブラウザから専用のインストールページ“Service Management Service (以下SMS)”を利用して行います。

対象複合機と同一ネットワーク上に存在し、Webブラウザを利用できるPCが必要となります。

2.1.3 ライセンスファイルの入手

複合機へのファイル自動整頓ツールのインストールは、管理対象とする全ての複合機に対して行う必要があります。管理対象とする全ての複合機に有効なライセンスファイル、または、複合機台数分のライセンスファイルを入手してください。

2.1.4 複合機 AMS 環境の確認

本ツールはAMS環境でご利用頂けます。

【AMS環境確認方法】

① AMSに対応した認証アプリケーションが動作している。

(現在お使いの認証アプリケーションがAMSに対応しているかは、対象の認証アプリケーションのマニュアルでご確認ください。)

※①に当てはまらない場合は非AMS環境となりますので、②以降の確認は不要です。

② 複合機のカウンタキーを押し、[カウンター確認]画面を表示します。

③ デバイス構成確認ボタンを押し、[デバイス構成確認]画面を表示します。

④ デバイス構成の中に「ACCESS MANAGEMENT SYSTEM」と表示があれば、対象の複合機はAMS環境になります。

2.2 複合機の設定(アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合)

アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合は、以下の手順に従って複合機の設定変更を実施して頂く必要があります。

1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の保持する Web ページへアクセスします。
「http://複合機の IP アドレス」

以下のログイン画面が表示されます。



2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

画面が表示されないときは・・・

■お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「インターネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

■Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)

※Java2 Runtime Environment(以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「設定/登録」ボタンを押します。

The screenshot shows the imageRUNNER ADVANCE portal interface. At the top, it displays the device name 'iR-ADV C5051' and the user 'Administrator'. The main content area is divided into several sections: 'デバイス基本情報' (Device Basic Information), 'デバイス状況' (Device Status), 'エラー情報' (Error Information), '消耗品情報' (Consumables Information), and '給紙段情報' (Paper Tray Information). On the right side, there is a '設定/登録' (Settings/Registration) button, which is highlighted with a red rectangle. Other buttons include '状況確認/中止' (Status Check/Stop), '受信/保存ファイルの利用' (Use Received/Save Files), 'カスタムメニュー' (Custom Menu), 'アドバンスドボックスのユーザー管理' (Advanced Box User Management), and 'アドレス帳' (Address Book).

4. 「設定/登録」画面を表示します。「ネットワーク」-「SMB サーバー設定」を押します。

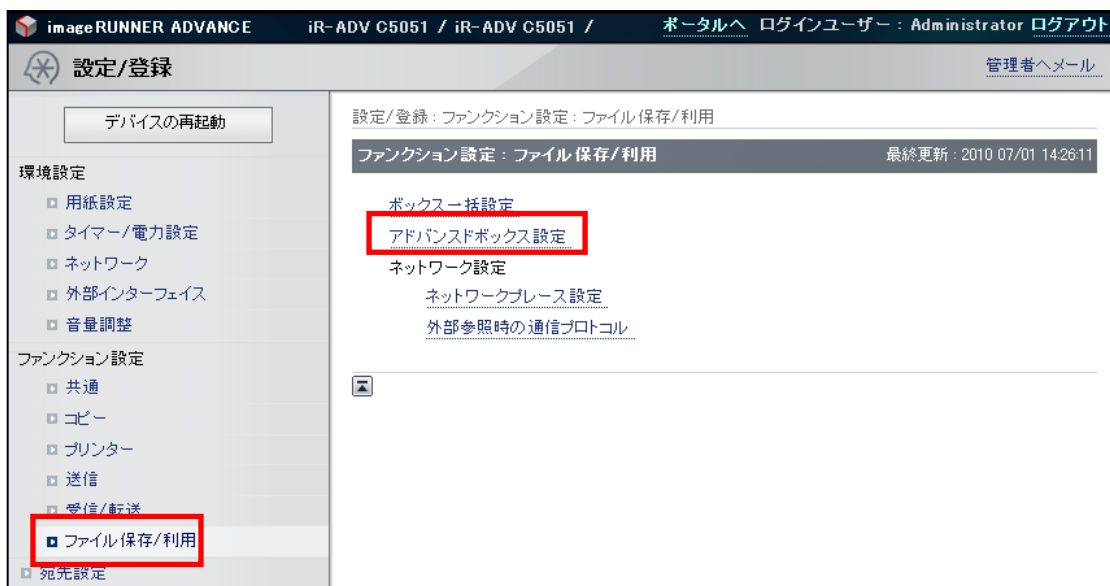
The screenshot shows the '設定/登録' (Settings/Registration) screen. The left sidebar contains a list of settings categories: '環境設定' (Environment Settings), 'ファクション設定' (Function Settings), and '管理設定' (Management Settings). The 'ネットワーク' (Network) option under '環境設定' is highlighted with a red rectangle. The main content area shows the '環境設定: ネットワーク' (Environment Settings: Network) page. It lists various network settings, including 'TCP/IP 設定' (TCP/IP Settings), 'レポート出力' (Report Output), 'WSD印刷の設定' (WSD Printing Settings), 'FTP印刷の設定' (FTP Printing Settings), 'BMLinkS 設定' (BMLinkS Settings), 'IPP印刷の設定' (IPP Printing Settings), 'マルチキャスト探索設定' (Multicast Discovery Settings), 'HTTP 設定' (HTTP Settings), 'WebDAVサーバー設定' (WebDAV Server Settings), 'SSL 設定' (SSL Settings), 'プロキシ設定' (Proxy Settings), '部門別ID管理の暗証番号確認を使用' (Use Departmental ID Management PIN Confirmation), 'NetWare 設定' (NetWare Settings), 'AppleTalk 設定' (AppleTalk Settings), and 'SMBサーバー設定' (SMB Server Settings). The 'SMBサーバー設定' option is highlighted with a red rectangle.

5. 「SMB サーバーを使用」、「SMB 認証を使用」「認証タイプ:NTLMv2」にそれぞれチェックを入れます。[OK] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'SMBサーバー設定' (SMB Server Settings) page in the imageRUNNER ADVANCE web interface. The interface is in Japanese. On the left is a navigation menu with categories like '環境設定' (Environment Settings), 'ファンクション設定' (Function Settings), and '管理設定' (Management Settings). The main area is titled '設定/登録: 環境設定: ネットワーク > SMBサーバー設定'. It contains three sections: 'SMBサーバー設定', 'SMBプリンター設定', and 'SMB認証設定'. In the 'SMBサーバー設定' section, the checkbox 'SMBサーバーを使用する' is checked, and the 'OK' button is highlighted with a red box. In the 'SMB認証設定' section, the checkbox 'SMB認証を使用' is checked, and the 'NTLMv2' radio button is selected and highlighted with a red box. Other fields include 'サーバー名' (CanonMFP), 'ワークグループ名' (WORKGROUP), and 'プリンター名' (PRINTER). The bottom of the page has a copyright notice: 'Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.'

- ※ サーバー名、ワークグループ名には全角文字を利用しないでください。
- ※ 認証タイプ「NTLMv1」の設定は任意です。

6. 「ファイル保存/利用」－「アドバンスドボックス設定」を押します。「詳細設定」を押します。



7. 「外部公開設定」を「SMBで公開」にします。「個人スペースの作成を許可」、「認証管理」にそれぞれチェックを入れます。「保存許可ファイル形式」を「すべて」にします。[OK]ボタンを押します。



8. 複合機の再起動をします。

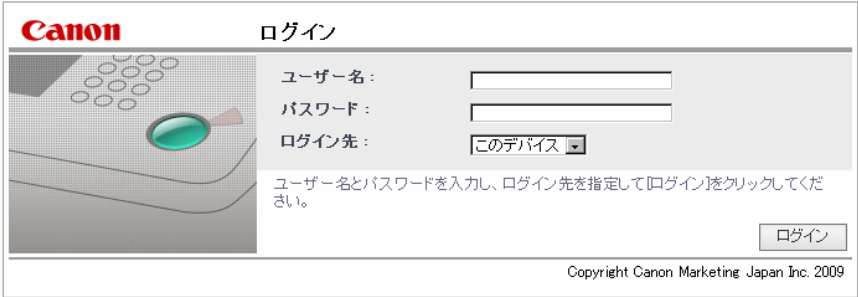
以上でインストールの準備は完了です。続けてファイル自動整頓ツールのインストールを実施してください。

2.3 複合機の設定(アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合)

アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合は、以下の手順に従って複合機の設定変更を実施して頂く必要があります。

1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の保持する Web ページへアクセスします。
「http://複合機の IP アドレス」

以下のログイン画面が表示されます。



2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

画面が表示されないときは・・・

■お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「イントラネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

■Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)

※Java2 Runtime Environment(以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「設定/登録」ボタンを押します。

The screenshot shows the 'imageRUNNER ADVANCE' remote UI portal. At the top, it displays 'デバイス名: iR-ADV C5051' and '製品名: iR-ADV C5051'. The 'Language' is set to 'Japanese'. The '設定/登録' (Settings/Registration) button is highlighted with a red rectangle. Below this, there are sections for 'デバイス基本情報', 'デバイス状況', 'エラー情報', '消耗品情報', and '給紙段情報'. The '給紙段情報' section shows a table of paper tray status.

用紙力セット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙力セット1	良好	A4	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙力セット2	良好	A4R	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙力セット3	良好	A3	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙力セット4	良好	A3	普通紙1 (64~81g/m2)

4. 「設定/登録」画面を表示します。「ネットワーク」-「SMB サーバー設定」を押します。

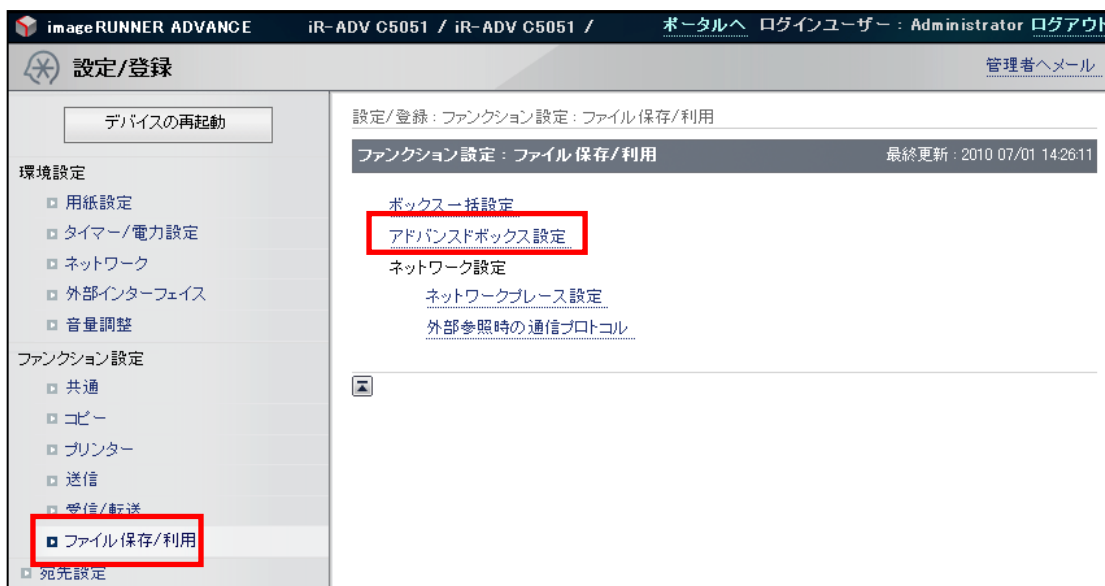
The screenshot shows the '設定/登録' (Settings/Registration) screen. The 'ネットワーク' (Network) option is highlighted with a red rectangle. Below it, the 'SMBサーバー設定' (SMB Server Settings) option is also highlighted with a red rectangle. The screen displays various network settings, including 'レポート出力', 'TCP/IP設定', 'IPアドレス設定', 'DNS設定', 'WINS設定', 'LPD印刷の設定', 'RAW印刷の設定', 'SNTP設定', 'FTP印刷の設定', 'WSD印刷の設定', 'FTPのPASVモードの使用', 'BMLinkS設定', 'IPP印刷の設定', 'マルチキャスト探索設定', 'HTTP設定', 'WebDAVサーバー設定', 'SSL設定', 'プロキシ設定', '部門別ID管理の暗証番号確認を使用', 'NetWare設定', 'AppleTalk設定', and 'SMBサーバー設定'.

5. 「SMB サーバーを使用」にチェックを入れ、「SMB 認証を使用」のチェックを外します。[OK]ボタンを押します。

The screenshot shows the 'SMBサーバー設定' (SMB Server Settings) page in the imageRUNNER ADVANCE web interface. The page title is '設定/登録: 環境設定: ネットワーク > SMBサーバー設定'. The 'SMBサーバー設定' section has a '最終更新: 2010.07/01 13:58:08' timestamp. It contains a 'SMBサーバーを使用する' checkbox which is checked and highlighted with a red box. Below this are fields for 'サーバー名' (Server Name) set to 'CanonMFP', 'ワークグループ名' (Workgroup Name) set to 'WORKGROUP', and a 'コメント' (Comment) field. There is also an unchecked checkbox for 'LMアナウンスを使用する' (Use LM Announce). The 'SMBプリンター設定' (SMB Printer Settings) section has an unchecked checkbox for 'SMB印刷を使用する' (Use SMB Printing) and a 'プリンター名' (Printer Name) field set to 'PRINTER'. The 'SMB認証設定' (SMB Authentication Settings) section has an unchecked checkbox for 'SMB認証を使用' (Use SMB Authentication) highlighted with a red box, and a '認証タイプ' (Authentication Type) section with unchecked checkboxes for 'NTLMv1' and 'NTLMv2'. At the top right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons, with the 'OK' button highlighted by a red box. The sidebar on the left shows '環境設定' (Environment Settings) with options like '用紙設定' (Paper Settings), 'タイマー/電力設定' (Timer/Power Settings), 'ネットワーク' (Network), '外部インターフェイス' (External Interface), and '音量調整' (Volume Adjustment). Below that is 'ファンクション設定' (Function Settings) with options like '共通' (Common), 'コピー' (Copy), 'プリンター' (Printer), '送信' (Send), '受信/転送' (Receive/Transfer), and 'ファイル保存/利用' (File Save/Use). At the bottom is '管理設定' (Management Settings) with options like 'ユーザー管理' (User Management), 'デバイス管理' (Device Management), 'ライセンス/その他' (License/Other), and 'データ管理' (Data Management). The footer of the page reads 'Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.'

※ サーバー名、ワークグループ名には全角文字を利用しないでください。

6. 「ファイル保存/利用」－「アドバンスドボックス設定」を押します。「詳細設定」を押します。



7. 「外部公開設定」を「SMBで公開」にします。「認証管理」のチェックを外します。「保存許可ファイル形式」を「すべて」にします。[OK]ボタンを押します。



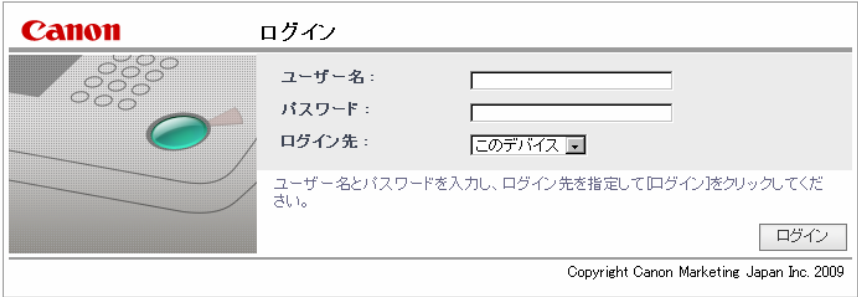
8. 複合機の再起動をします。
以上でインストールの準備は完了です。続けてファイル自動整頓ツールのインストールを実施してください。

2.4 個人フォルダーの作成方法

アドバンスドボックスへのアクセス先として個人フォルダーを利用する場合は、以下の手順に従って個人フォルダーを作成して頂く必要があります。個人フォルダーの作成はアドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合のみ可能です。

1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の保持する Web ページへアクセスします。
「http://複合機の IP アドレス」

以下のログイン画面が表示されます。



2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

画面が表示されないときは・・・

■お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「イントラネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

■Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)

※Java2 Runtime Environment(以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「アドバンスドボックスのユーザー管理」ボタンを押します。

imageRUNNER ADVANCE

デバイス名: iR-ADV C5051 ログインユーザー: Administrator ログアウト

製品名: iR-ADV C5051

設置場所:

リモートUI: ポータル Language: Japanese 管理者へメール

最終更新: 2010/07/01 13:46:58

状況確認/中止

設定/登録

アプリケーション

受信/保存ファイルの利用

カスタムメニュー

アドバンスドボックスのユーザー管理

アドレス帳

デバイス基本情報

デバイス状況

プリンター: ● スリープ中です。

スキャナー: ● スリープ中です。

エラー情報

エラーはありません

消耗品情報

給紙段情報

用紙セット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ 不明	なし
用紙セット1	良好	A4	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙セット2	良好	A4R	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙セット3	良好	A3	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙セット4	良好	A3	普通紙1 (64~81g/m2)

4. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、「アドバンスドボックスのユーザー管理」のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
 お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

imageRUNNER ADVANCE リモートUIへ ログインユーザー:

アドバンスドボックスのユーザー管理

ログイン

ユーザー管理ページへアクセスします。ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックしてください。

ユーザー名:

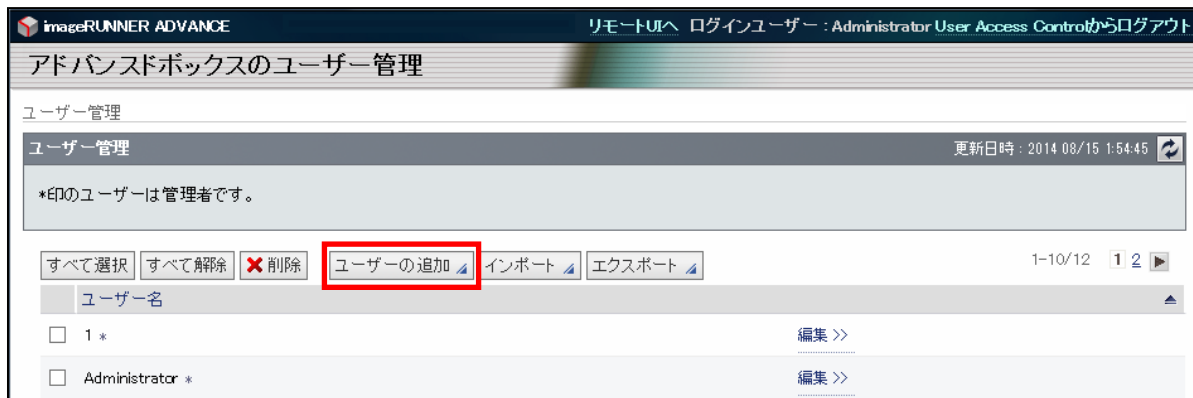
パスワード:

ログイン

[認証方法と認証ログの管理 >>](#)

Version 2.0.18 Copyright CANON INC. 2012 All Rights Reserved.

5. 「ユーザーの追加」を押します。



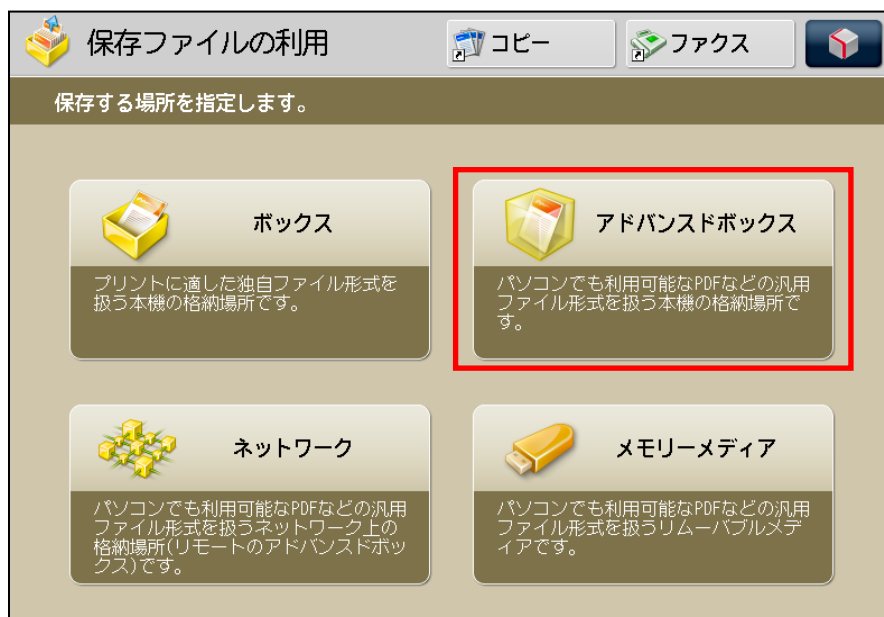
6. アドバンスドボックスに接続するためのアカウント情報を入力し、「追加」を押します。



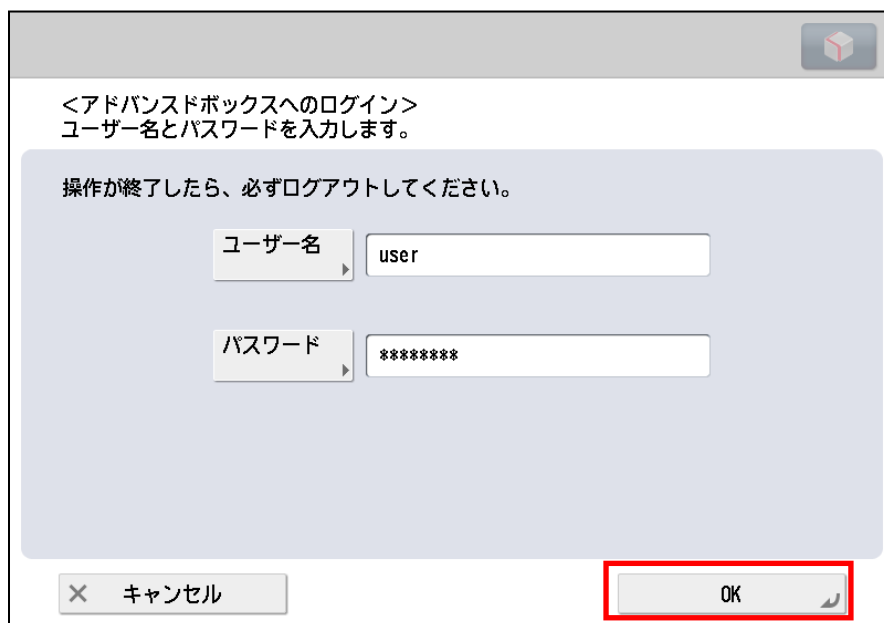
7. 複合機のメインメニューから「保存ファイルの利用」を押します。



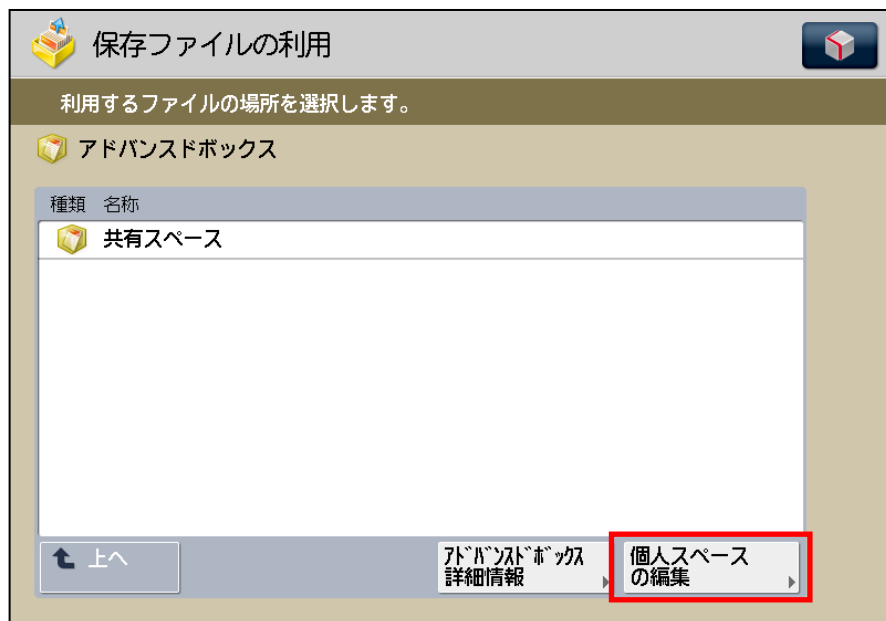
8. 「アドバンスドボックス」を押します。



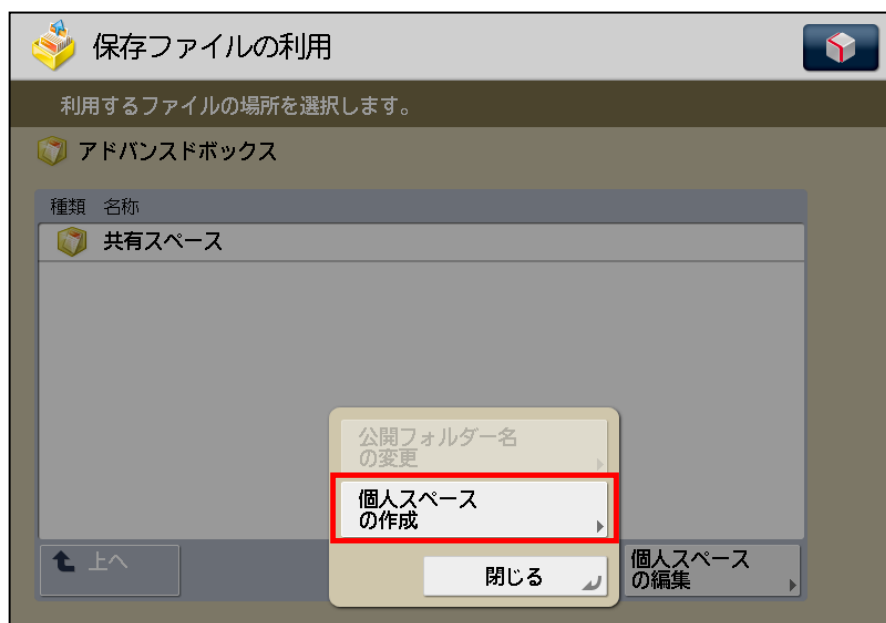
9. 6で作成したアカウント情報を入力して「OK」を押します。



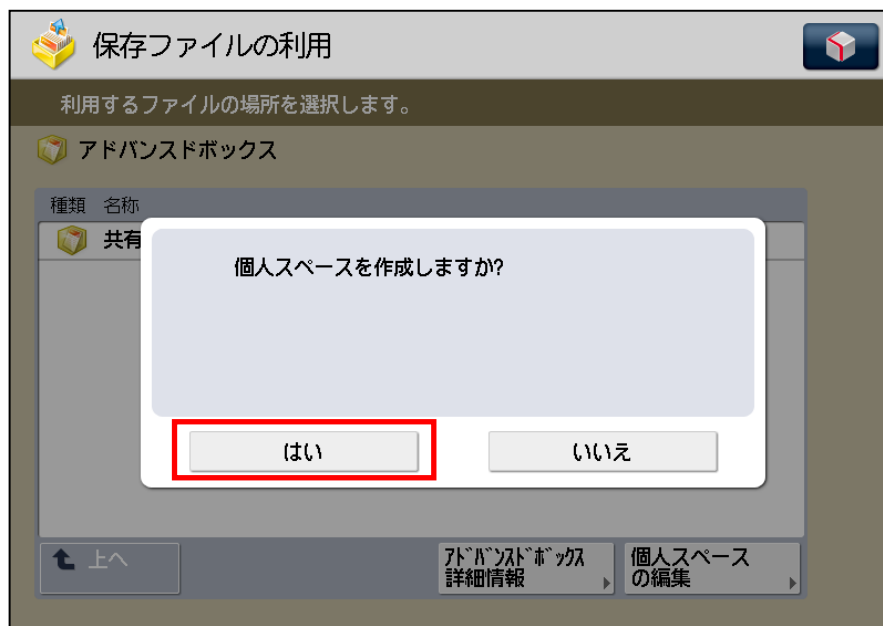
10. 「個人スペースの編集」を押します。



11. 「個人スペースの作成」を押します。



12. 「はい」を押すと個人フォルダーが作成されます。



以上で個人フォルダーの作成は完了です。

3 インストールとセットアップ

3.1 SMS(Service Management Service)を利用したインストール方法

ここでは、複合機に「ファイル自動整頓ツール」をインストールする手順を説明します。

3.1.1 ファイル自動整頓ツールの導入方法

MEAPアプリケーションを管理するツールである「SMS」を利用して、「ファイル自動整頓ツール」のインストールをします。

(SMSの詳細については、複合機本体付属のマニュアル「MEAPアプリケーション管理機能」をご覧ください。)

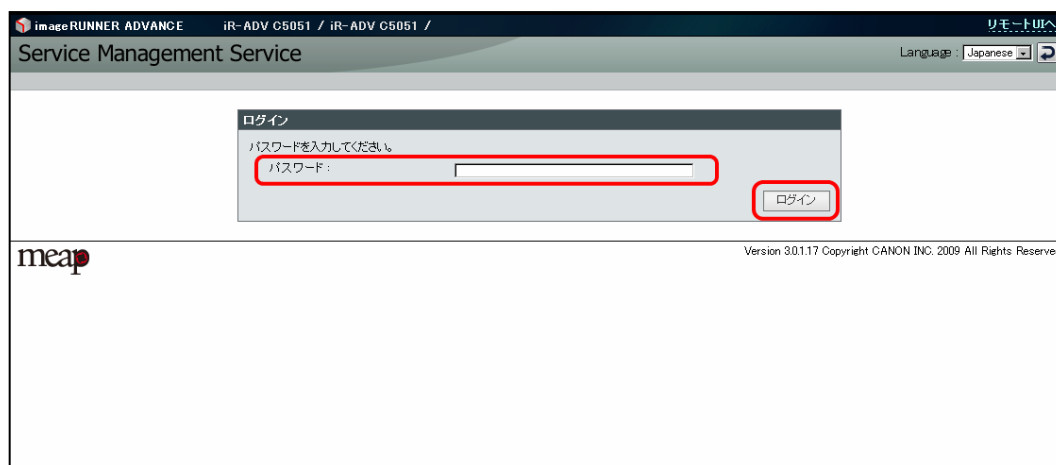
1. 複合機と同一ネットワーク上の PC の Web ブラウザを起動して、アドレスに以下を入力します。

http://複合機の IP アドレス:8000/sms ※大文字小文字を区別します

2. SMS のログイン画面が表示されます。以下の通りパスワードを入力し、[ログイン]ボタンを押します。

パスワード	MeapSmsLogin	※大文字小文字を区別します
-------	--------------	---------------

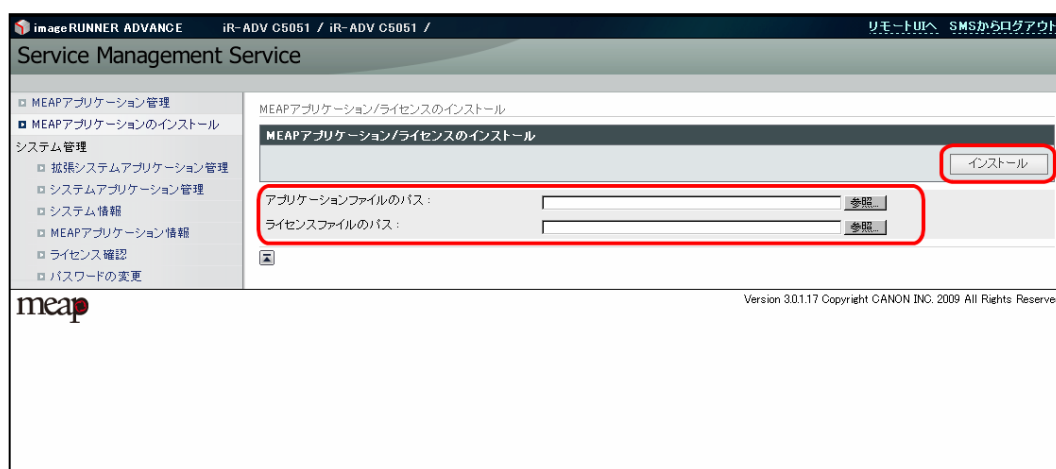
※ 既に複合機が設置済みで別の MEAP アプリケーションがインストールされている場合、上記パスワードでログインできない可能性があります。その場合は、複合機の管理者に確認してください。)



3. ログインに成功すると、以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、画面左部の「MEAP アプリケーションのインストール」を押してください。



4. 以下の「MEAP アプリケーション/ライセンスのインストール」画面が表示されます。お持ちのアプリケーションファイル(拡張子「jar」)と、事前に入手したライセンスファイル(拡張子「lic」)を「参照...」ボタンよりそれぞれ選択し、「インストール」ボタンを押してください。



5. 以下の「確認画面」が表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンを押して続行します。
(以下、実際の製品は製品バージョン等下記の内容と異なる場合があります。)



以下の内容をインストールします。よろしいですか？

はい
いいえ

アプリケーション情報

アプリケーション名:	File Arrange Tool
製品バージョン:	1.0.0
アプリケーションID:	b53ab47b-0128-1000-81fa-00e000c4ae6f
製造会社:	Canon Marketing Japan Inc.
Copyright:	Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010
説明:	File Arrange Tool 1.0.0.20100713

6. 「MEAP アプリケーション管理」画面の[アプリケーション名]に「File Arrange Tool」が表示されていることを確認し、[開始]ボタンを押します。

ImageRUNNER ADVANCE iR-ADV C7055 / iR-ADV C7055 /
リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

デバイスシリアルNo.:

☒ MEAPアプリケーション管理

☐ MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

☐ 拡張システムアプリケーション管理
☐ システムアプリケーション管理
☐ システム情報
☐ MEAPアプリケーション情報
☐ ライセンス確認
☐ パスワードの変更

MEAPアプリケーション管理 更新日時: 2010/06/29 18:55:54

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.0.0	2010/06/29 インストール済み	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px 5px;">開始</div> <div>アンインストール</div> <div>不要</div> </div>

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38% <div style="width: 38%; background-color: #4f81bd; height: 10px;"></div>
メモリー	6500 KB	124572 KB	5% <div style="width: 5%; background-color: #4f81bd; height: 10px;"></div>
スレッド	65	191	25% <div style="width: 25%; background-color: #4f81bd; height: 10px;"></div>
ソケット	45	211	18% <div style="width: 18%; background-color: #4f81bd; height: 10px;"></div>
ファイル記述子	28	228	11% <div style="width: 11%; background-color: #4f81bd; height: 10px;"></div>


Version 3.0.1.37 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

7. 「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」と表示されていることを確認してください。



The screenshot shows the 'Service Management Service' interface for 'imageRUNNER ADVANCE'. The left sidebar contains a navigation menu with options like 'MEAPアプリケーション管理' and 'システム管理'. The main area displays 'MEAPアプリケーション管理' with a table of installed applications. The 'File Arrange Tool' is listed with a status of '開始' (Started), which is highlighted with a red box. Below the application table, there is a '資源情報' (Resource Information) section showing usage and remaining space for various system resources.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	2010 06/29	開始	不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	16500 KB	114572 KB	13%
スレッド	75	181	29%
ソケット	55	201	21%
ファイル記述子	38	218	15%

以上で、複合機への ファイル自動整頓ツール のインストール作業は終了です。
引き続き、「4 環境設定」に進んでください。

3.2 SMS(Service Management Service)を利用したアンインストール方法

ここでは、「ファイル自動整頓ツール」を複合機からアンインストールする手順を説明します。

アンインストールを実施する前に、必要に応じて以下のデータをエクスポートしてください。

- ① ログファイル(状況確認画面よりエクスポート)
- ② 設定項目ファイル(設定のインポート／エクスポート画面よりエクスポート)

※ ファイル自動整頓ツールをアンインストールすると上記データはすべて消去されますので、必要な場合は必ずアンインストール前にエクスポートを行ってください。

※ 各ファイルの詳細については、運用管理者向けマニュアルをご参照ください。

1. Web ブラウザにて、「http://複合機の IP アドレス:8000/sms」に接続します。

以下の「SMS のトップ画面」が表示されますので、パスワードを入力して[ログイン]ボタンを押します。
SMS のパスワードの初期値は、「MeapSmsLogin」(大文字・小文字を区別します)で設定されています。

2. 以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」の場合には[停止]ボタンを押してアプリケーションを停止させてください。

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.0.0	2010 06/29 開始	停止 アップインストール 不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	16500 KB	114572 KB	13%
スレッド	75	181	29%
ソケット	55	201	21%
ファイル記述子	38	218	15%

3. 「File Arrange Tool」の「状態」が「停止」であることを確認します。

4. 次に、ライセンスの削除を行います。「アプリケーション名」の「File Arrange Tool」のリンクを押してください。

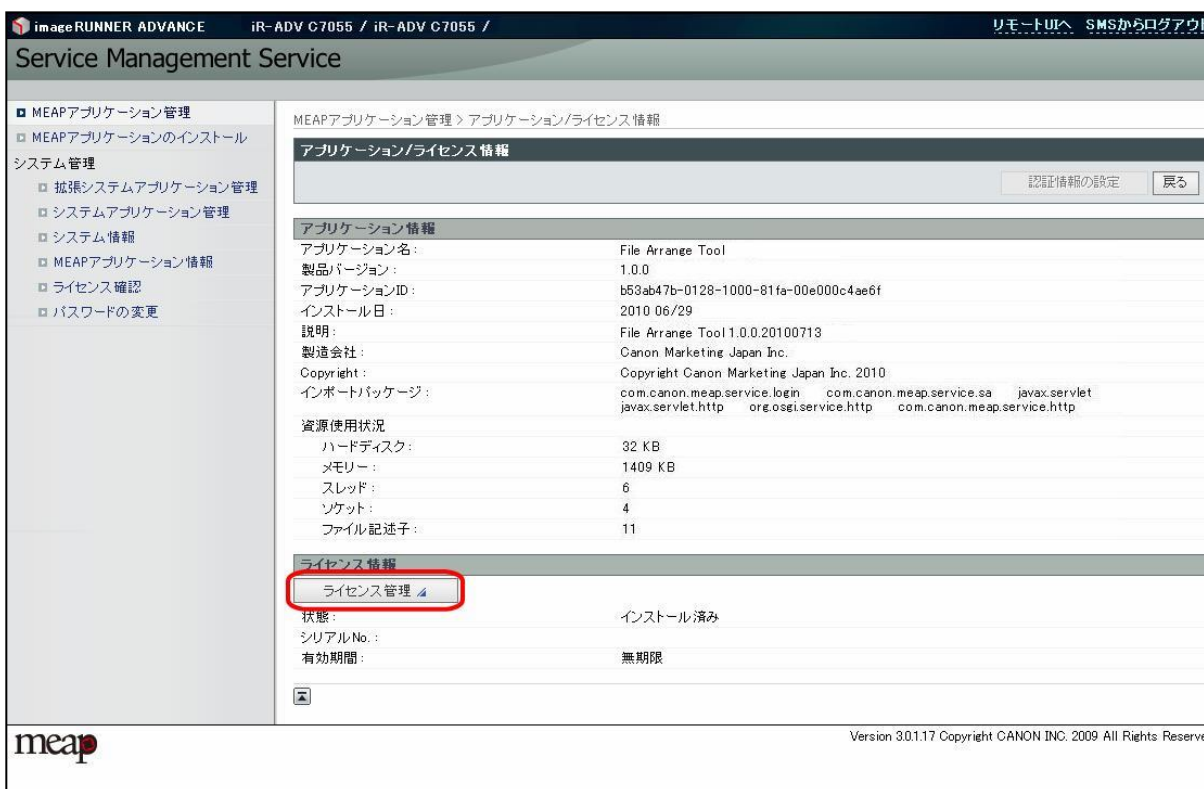


The screenshot shows the 'Service Management Service' interface. On the left is a navigation menu with options like 'MEAPアプリケーション管理' and 'システム管理'. The main area is titled 'MEAPアプリケーション管理' and contains a table of installed applications. The 'File Arrange Tool' is listed with version 1.0.0, installed on 2010/07/13, and its status is '停止' (Stopped), which is highlighted with a red box. Below the table is a '資源情報' (Resource Information) section showing usage for Hard Disk, Memory, Thread, Socket, and File Descriptor.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	2010/07/13	停止	開始 アンインストール 不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401041 KB	647535 KB	38%
メモリー	17929 KB	113143 KB	14%
スレッド	103	153	40%
ソケット	70	186	27%
ファイル記述子	50	206	20%

5. 「アプリケーション/ライセンス情報」画面が表示されます。[ライセンス管理]ボタンを押してください。

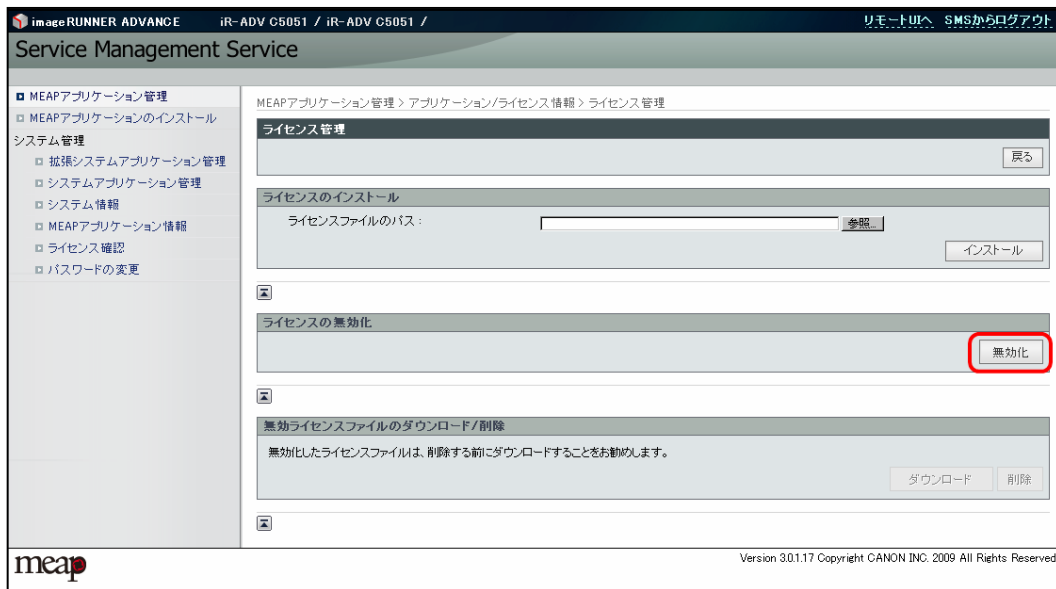


The screenshot shows the 'アプリケーション/ライセンス情報' (Application/License Information) page. It displays detailed information for the 'File Arrange Tool' application, including its name, version, ID, installation date, and manufacturer. Below this, there is a 'ライセンス情報' (License Information) section with a 'ライセンス管理' (License Management) button highlighted by a red box. The license status is 'インストール済み' (Installed) and the expiration date is '無期限' (Indefinite).

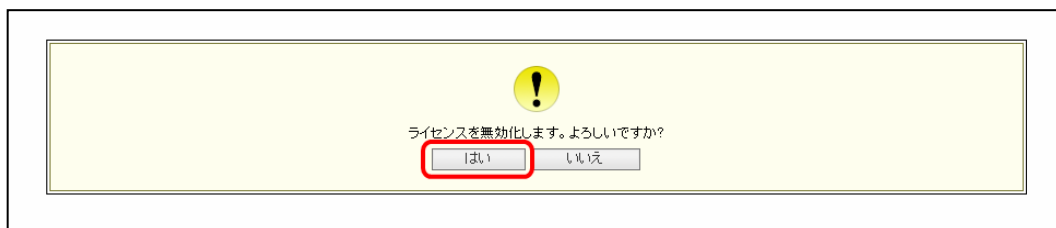
アプリケーション情報	アプリケーション名	製品バージョン	アプリケーションID	インストール日	説明	製造会社	Copyright	インポートパッケージ
File Arrange Tool	1.0.0	b53ab47b-0128-1000-81fa-00e000c4ae6f	2010/06/29	File Arrange Tool 1.0.0.20100713	Canon Marketing Japan Inc.	Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010	com.canon.meap.service.login com.canon.meap.service.sa javax.servlet javax.servlet.http org.osgi.service.http com.canon.meap.service.http	

ライセンス情報	ライセンス管理	状態	シリアルNo.	有効期間
インストール済み	無期限			

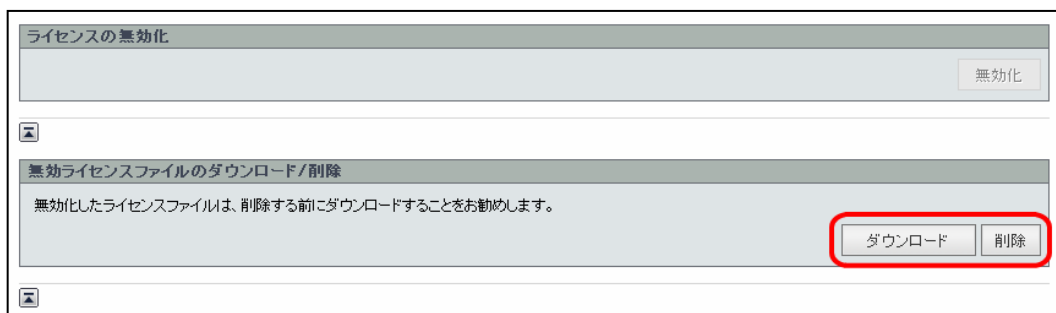
6. 「ライセンス管理」画面が表示されますので、同画面の「ライセンスの無効化」から[無効化]ボタンを押してください。



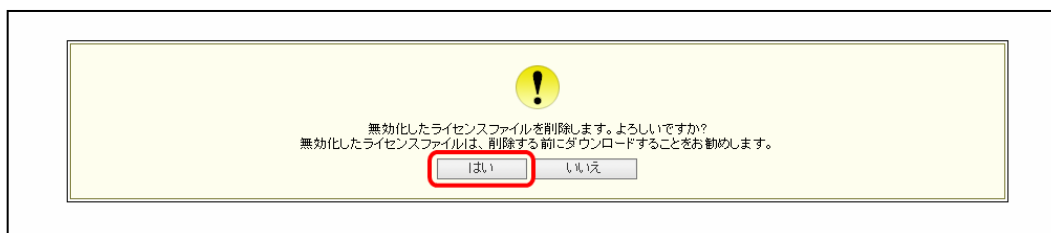
7. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



8. 「ライセンス管理」画面の「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[ダウンロード]ボタンを押して、ライセンスファイルをダウンロードしてください。
9. 次に、同画面で「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[削除]ボタンを押してください。
※[ダウンロード]ボタン、[削除]ボタンは、ライセンスの無効化後に押下可能となります。



10. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。




11. [MEAP アプリケーション管理]を押します。「ライセンス」が「未インストール」であることを確認し、[アンインストール]ボタンを押してください。



12. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



13. 「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されます。一覧から「File Arrange Tool」が消去されていることを確認してください。



imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

デバイスシリアルNo.: DZH00042

MEAP アプリケーション管理

MEAP アプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAP アプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAP アプリケーション管理

更新日時: 2009/08/06 13:49:26

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool			

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	71000 KB	977576 KB	7%
メモリー	6000 KB	125072 KB	5%
スレッド	65	191	25%
ソケット	45	211	18%
ファイル記述子	28	228	11%

meap

Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

以上で、アンインストール作業は終了です。

4 環境設定

ここでは、本ツールの個別の環境設定を行う手順を説明します。
環境設定は、Web ブラウザを用いて行います。

4.1 Web ブラウザからのログイン方法

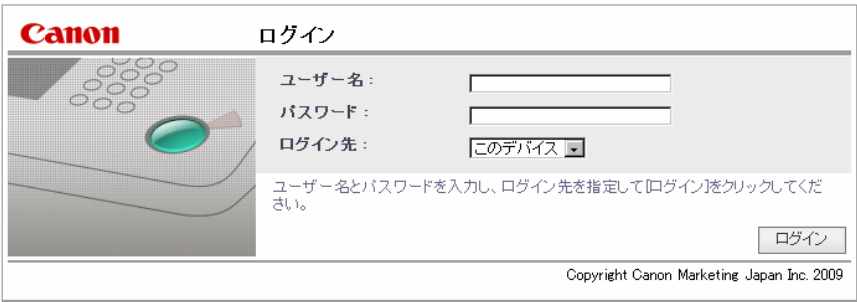
認証アプリケーションが動作している時は、Webブラウザからの複合機へのアクセスは必ず認証が行われます。(リモートログイン)

ここでは、Webブラウザからのログイン方法を説明します。

1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の保持する Web ページへアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

以下のログイン画面が表示されます。



2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

画面が表示されないときは・・・

■お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「イントラネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

■Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)

※Java2 Runtime Environment (以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すと、ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページが表示されます。

The screenshot shows the imageRUNNER ADVANCE remote UI portal. The top header includes the logo, device name (iR-ADV C7055), and login user (1 ログイン). The main content area is divided into several sections: 'Device Basic Information', 'Device Status', 'Error Information', 'Consumption Information', 'Toner Levels', and 'Notice Board'. On the right side, there is a sidebar with 'Applications' and 'Management Applications'. The 'File Auto-Organization Tool' button is highlighted with a red rectangle in the 'Management Applications' section.

用紙力セット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙力セット1	少ない	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット2	なし	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット3	少ない	B4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット4	少ない	A3	普通紙1 (64~90g/m2)

アイテム名	残量
シアントナー残量	良好
マゼンタナー残量	良好
イエローナー残量	良好
ブラックナー残量	良好

4.2 アプリケーションの個別設定

「リモートUI: ポータル」の「管理用アプリケーション」から「ファイル自動整頓ツール」ボタンを押すか、Webブラウザにて「http://複合機のIPアドレス:8000/cmj/advbox_file_arrange」を入力し、ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページを表示します。

ファイル自動整頓ツール [Setting]

基本設定

監視フォルダー設定

設定のインポート/エクスポート

状況確認

基本設定

監視間隔: 24 (時間)

ファイルの移動待機時間: 2 (0 - 60 分)

☐ フォルダーを自動的に削除する

保持期間: (1 - 365 日)

☐ 起動時に監視処理を実行する

設定 即実行

● 『フォルダーを自動的に削除する』を設定した場合、保持期間を過ぎたフォルダーは自動的に削除されます。
必要なフォルダーは保持期間を過ぎる前に移動してください。

● 『即実行』ボタンを押下した場合、『監視間隔』に関係なく監視処理が実行されます。
『監視間隔』以外には保存された設定にて実行されます。

Version 1.0 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010

ページは画面左の赤枠で囲んだ「メニュー」部分と、画面右の青枠で囲んだ「設定部分」に分けられます。メニューを押すことで、設定部分がリンクボタンに応じた画面に遷移します。

メニュー	内容
基本設定	監視を実行する基本動作の設定を行います
監視フォルダー設定	監視するフォルダーの設定を行います
設定のインポート／エクスポート	一括設定を行うための設定項目ファイルのインポート／エクスポートを行います
状況確認	監視処理の状況確認、ログファイルのエクスポートを行います

※各メニューの詳細については、運用管理者向けマニュアルをご参照ください。

5 動作確認

ファイル自動整頓ツールが正常にインストールされた事の確認を行います。

No	検証内容	正常動作	正常に動作したか (OK / NG)
1	監視パスを設定し、接続確認ができることを確認する	接続成功	
2	1 で接続確認後、基本設定画面にて即実行ができることを確認する	即実行成功	

以上で、動作確認作業は終了です。

ファイル自動整頓ツール Ver1.3.4 設置手順書

第 2.0 版：2017 年 02 月

Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2017

注意：

1. 本書の内容の一部または全体を無断で複製することは禁止されています。
2. 本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやご不審な点が見つかりましたら当社までご連絡ください。
3. 本書の誤りによる場合も含め、本書の内容がもとで発生した一切の損害につきましては、当社での責任を負いかねます。